00010

本書ノ大キサハ國定規格A5判

鳥取縣公報

昭和十六年八月二十九日　金曜日
第千二百六十三號

縣令

◇鳥取縣令第四十二號

「ヂフテリア」豫防奬勵規程左ノ通定ム

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事　八田三郎

「ヂフテリア」豫防奬勵規程

第一條　現在乳幼兒ニ付「ヂフテリア」ノ豫防注射（以下豫防注射ト略稱ス）ヲ施行シタル市町村ニ對シ年度豫算ノ範圍內ニ於テ本規程ニ基キ審査ノ上奬勵金ヲ交付ス但シ奬勵金ニ代ヘ現品ヲ交付スルコトアルベシ

第二條　現品ヲ交付スル場合ニ在リテハ一人ニ付豫防注射液二、五立方糎ヲ交付ス

第三條　第一條ニ規定スル奬勵金ハ豫防注射完了者ノ人員ヲ斟酌シ一人ニ付金三十錢以內ヲ交付スルモノトス

第四條　豫防注射ハ皮下注射二回法ニ依リ之ヲ完了スルモノトス

第五條　市町村長第一條ニ定ムル豫防注射ヲ施行セントスルトキハ之ニ從事スベキ醫師ト協議シ豫メ左ノ各號ノ事項ヲ整備スベシ

一　施行ノ日時及場所並ニ之ニ從事スベキ醫師ノ住所、氏名及年齢別被注射人員表ヲ作成添付シ施行二十日以前警察部長ニ報告スルコト

二　豫防注射ニ要スル藥品、器具其ノ他必要ナル事項ヲ準備スルコト

三　豫防注射施行前第二條ノ規定ニ依リ豫防注射液ノ交付ヲ受ケントスル場合ハ其ノ旨申請スルコト

00011

四　別記第一號ノ被注射者名簿二通ヲ作成シ豫防注射開始前○印欄ニ該當事項ヲ記入スルコト

五　注射施行ノ場所ハ換氣採光ノ良好ナル室ヲ選ビ少クトモ被注射者控室二（健康者用ト病者用）施術室一ヲ區別シ各室トモ豫メ濕拭清潔法ヲ行ヒ寒冷ナル日ニ在リテハ適當ノ暖房裝置ヲ設備スルコト

第六條　市町村長第一條ニ定ムル奬勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ別記樣式第二號ノ申請書ニ別記樣式第一號ノ被注射者名簿一通ヲ添ヘ豫防注射完了後三十日以內ニ知事ニ提出スベシ

注射完了者五十人ニ滿タザル場合若ハ所定ノ期間ヲ經過セシ申請ニ對シテハ奬勵金ヲ交付セザルコトアルベシ

第七條　所轄警察署長第五條第一號ニ定ムル文書又ハ第六條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ左ノ各號ニ關シ過誤當否ヲ調査ノ上意見ヲ附シ速ニ警察部長ニ進達スベシ

一　豫防注射施行場所ノ適否

二　豫防注射人員又ハ完了人員

三　保護者擔稅力ノ程度

第八條　本令ニ依ル報告竝申請スベキ書類ハ所轄警察署ヲ經由スベシ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第一號　（被注射者名簿）

○追番號	○氏名	○住所	○保護者トノ續柄	○出生年月	○保護者擔稅力程度	○生來ノ健否	豫防注射 第一回 月日	豫防注射 第一回 量	豫防注射 第二回 月日	豫防注射 第二回 量	備考
				年 月			月 日	・ cc	月 日	・ cc	
				年 月			月 日	・ 同	月 日	・ 同	
				年 月			月 日	・ 同	月 日	・ 同	
				年 月			月 日	・ 同	月 日	・ 同	
				年 月			月 日	・ 同	月 日	・ 同	

00012

記載注意

一　○印アル欄ハ豫防注射開始前其ノ他ノ欄ハ名簿報告前豫メ市町村長ニ於テ記入スルコト

二　擔稅力ノ程度ハ全市町村ヲ概ネ四階級ニ分チ其ノ高額ナルモノヨリ甲、乙、丙及丁ニ區分シ記入スルコト

三　豫防注射欄ハ注射施行ノ都度市町村長ニ於テ記入スルコト

四　備考欄ハ第二回豫防注射施行ノ際被注射者又ハ其ノ保護者ニ付異狀ノ有無及其ノ種別ヲ訊ネ記入スルコト

樣式第二號

「ヂフテリア」豫防奬勵金下附申請書

一金

內譯

擔稅力ノ程度	
甲	人
乙	人
丙	人
丁	人
計	人
備考	

右ハ昭和何年何月本市町村ニ於テ施行シタル「ヂフテリア」豫防奬勵規程第一條該當者何名ニ對スル豫防奬勵金トシテ下附相成度被注射者簿ヲ添付シ此段及申請候也

昭和　年　月　日

何々市町村長　氏　名　印

鳥取縣知事　殿

00013

訓令

◇鳥取縣訓令甲第十七號

市町村長

金屬類保有狀況調査事務取扱手續左ノ通定ム

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事　八田三郎

金屬類保有狀況調査事務取扱手續

第一條　金屬類保有狀況調査ノ事務ハ、昭和四年勅令第三百二十九號資源調査令、昭和十六年商工省令第七十三號金屬類保有狀況調査規則（以下規則ト稱ス）ニ定ムルモノノ外本手續ニ依リ取扱フベシ

第二條　市町村長ハ規則第一條ノ規定ニ依ル調査ノ時期前二十日現在ニ依リ、準備調査トシテ管內ニ於ケル規則第二條第一項該當者ニ就キ施設ノ名稱所在地ヲ調査スベシ

前項ノ調査ヲ終リタルトキハ樣式第一號ニ依リ調査時期前十五日迄ニ之ヲ知事ニ報告スベシ

第三條　調査用申告書用紙ハ調査ノ都度之ヲ知事ヨリ市町村長ニ交付ス

市町村長前項用紙ヲ受領シタルトキハ直ニ金屬類保有狀況調査員ニ交付スベシ

第四條　市町村長規則第三條ニ依ル申告書ヲ受理シタルトキハ樣式第二號ニ依ル送致目錄ヲ添付シ規則第四條ニ依ル所定ノ期限迄ニ知事ニ提出スベシ

第五條　市町村長ハ金屬類保有狀況調査員タルニ適當ト認ムル資源調査員ヲ選定シ樣式第三號ニ依リ知事ニ內申スベシ

其ノ異動アリタルトキ亦同ジ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年第一次調査ニ限リ第二條中二十日トアルハ十日、十五日トアルハ五日トス

00014

樣式第一號

年　月　日

何市（何郡何町村）長　氏　名　㊞

知事宛

金屬類保有狀況調査規則該當者報告ノ件

標記ノ件金屬類保有狀況調査事務取扱手續第二條ニ依リ左ノ通及報告候也

記

施設ノ種類	準備調査時期現在數	備考
計		

（注意）

一　施設ノ種類欄ハ規則第二條第一項ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定セル施設ノ番號ニ依リ區分シ記入スルコト

二　備考欄ニ當該番號ニ依ル施設ノ內譯ヲ例ヘバ施設ノ番號二〇、該當者ニ於テ商業組合三、工業組合二、產業組合一ノ如ク記入スルコト

樣式第二號

年　月　日

00015

何市（何郡何町村）長　氏　名　㊞

知事宛

金屬類保有狀況申告書提出ノ件

標記ノ件金屬類保有狀況調査事務取扱手續第四條ニ依リ左記目錄ノ通及提出候也

記

何　々

何　々

申告書總枚數　　枚

（注意）

一　目錄ハ商工大臣ノ指定セル施設ノ當該番號ヲ附シ記入スルコト

樣式第三號

年　月　日

何市（何郡何町村）長　氏　名　㊞

知事宛

資源調査員内申ノ件

左記ノ者本市（町村）金屬類保有狀況調査員タル資源調査員トシテ適當ト認メ候ニ付御任命相成度此段内申候也

擔當區域	擔當調査客體數	氏名	職業	住所	生年月日	履歷概要	備考

（注意）

一　擔當區域及擔當調査客體數ハ調査員ニ於テ一日中ニ申告書用紙ノ配布又ハ申告書ノ蒐集ヲ完結シ得ル樣配分スルコト

二　履歷概要欄ハ「何市（町村）書記」「商工省所管重要物資現在高調査員」「農林水産業調査員」「何學校卒業」等ノ如ク記入スルコト

三　備考欄ニ位階勳等アラバ附記スルコト

告示

◇鳥取縣告示第七百號

農林省所管重要物資現在高調査員タル資源調査員左ノ通任免セリ

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事　入田三郎

新任者	解任者	職務執行ノ區域	任免年月日
山名壽雄	薄墨長壽	勝谷村	昭和十六年七月二十八日
細谷長平	田中房治	（氣高郡）逢坂村	同　八月十三日
小林英治	岡本繁美	大鄕村	同　六月二日

00016

川口哲夫	野崎寓	上私都村	同 八月十三日
涌嶋哲夫	小谷榮	（東伯郡）西鄕村	同 同十一日
西本孝壽	西村武壽	上長田村	同 同十三日
遠藤尙正	杉浦敏治	東長田村	同 同十四日
西村雅雄	坪倉鷹之	山上村	同 同十三日
竺原郁	竹中豊繁	上小鴨村	同 同十五日
村田正次	宮田信雄	國中村	同 同二十三日

◇鳥取縣告示第七百一號

商工省所管重要物資現在高調査員タル資源調査員左ノ通任免セリ

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事 八田三郎

新任者	解任者	職務執行ノ區域	任免年月日
小林英治	岡本繁美	大鄕村	昭和十六年六月二日
細谷長平	田中松造	（氣高郡）逢坂村	同 八月十三日
涌嶋哲夫	小谷榮	（東伯郡）西鄕村	同 同十一日
影山稔治	樋口金重	二部村	同 六月十三日
竺原郁	竹中豊繁	上小鴨村	同 八月十五日
小谷武延	山本豊	國中村	同 同二十三日

◇鳥取縣告示第七百二號

國民學校教員試驗檢定參考書左ノ通定ム

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事 八田三郎

國民學校訓導

科目	書名	著者	發行所
修身	國民禮法要項	文部省	目黑書店
	師範修身書 卷三、四、五	同	教學圖書株式會社
教育	日本教育 新教科書 教育學	乙竹岩造	培風館
	同 近世教育史	同	同
	同 各科教授法	同	同
	同 學校管理法	同	同
	同 心理學	同	同
	同 論理學	同	同
國語	師範國文 第一部用 卷一〇九	吉田彌平 石井庄司	光風館
文法	新制 師範國文法	吉澤義則	修文館
漢文	師範漢文 卷三、四、五	簡野道明	明治書院
習字	教育書鑑（男子用）	木俣波男	國華會出版部

	模範女子新習字教本	修文館編輯部	東京修文館
	小學校書方手本 尋常用 高等用	文部省	大日本圖書株式會社
數學	師範數學教科書教育 卷上、下	津山三郎	敞文館
	カズノホン	文部省	大日本圖書株式會社
	師範學校珠算教科書	二階源市	培風館
歷史	師範國史 上	文部省	教學圖書株式會社
	小學國史 教師用書 卷上、中、下	同	東京書籍、株式會社
	最新師範東洋史	有高巖	開成館
	新体西洋歷史 師範學校用	大類伸	富山房
地理	師範新日本地理	田中啓爾	目黑書店
	師範新外國地理	同	同
	師範新地理概說	同	同
博物	師範教科新制植物學	大日本圖書株式會社	同上
	師範教科新制動物學	同	同
	新制生理衞生教科書	村地長孝	東京開成館

	師範鑛物界教科書	中村新太郎	星野敬一
物理及科學	自然ノ觀察 教師用	文部省	東京書籍株式會社
	小學校理科教科書 教師用	文部省	同上
	新制生物通論	田原正人	至文堂
	新制師範物理學	廣島高師理科研究會	修文館
	新制師範化學	同	同
公民	師範公民書 卷上、下	文部省	教學圖書株式會社
圖畫	圖畫法基準	宮下孝雄	開成館
	小學圖畫 教師用 尋常科用 高等科用	文部省	大日本圖書株式會社
	エノホン	同	同
工作	改訂新手工教科書 卷上、下	岡山秀吉 阿部七五三吉 伊藤信一郎	培風館
音樂	中等新樂典教科書基礎篇	眞篠俊雄	東洋圖書株式會社
	新訂尋常小學唱歌伴奏附 自三年至六年	文部省	大日本圖書株式會社
	新訂高等小學唱歌伴奏附 自一年至三年	同	同
	ウタノホン 卷上、下	同	同
	標準師範學校音樂教科書 一―二	黑澤隆朝 小川一朗	共益商社

	バイエルピアノ教則本	荻原英一	同
	最新オルガン教科書	田村虎藏	三松堂
体操	師範學校体錬科教科書	師範學校体育研究會	大正洋行
	學校体操教授指針	文部省体育研究所	目黒書店
	學校教練教科書	陸軍省兵務課編	軍人會館圖書部
	新（生命）体操ノ學習	三橋喜久雄　三橋義雄	三橋体育研究所
農業	全訂師範教科　農業原論　巻一、二、三、四、五	横井時敬　佐々木祐太郎	興文社
裁縫	新興裁縫科指導法	吉村千鶴	東京開成館
	精詳衣服新教本　和服同前扁　洋服同後扁	岡本すみ	同
	和服裁縫系統的精説合輯	石田はる	中文館
	尋常小學高等小學　裁縫新教授書三冊	文部省	大日本圖書株式會社
	洗濯ト汚點拔	菱山衡平	文光社
	家事各論　衣服要義	石澤吉麿	東洋圖書株式會社
家事	新日本家事教科書　巻上、下	山崎犀二　有本邦太郎	盛林堂
	最新家事教授法精義	石澤吉麿	教育研究會

	家事教授法要義	家事教授研究會	文光社
	割烹教授ニ關スル研究	中原イネ子	同
商業	新商事要項　巻上、下	増地庸次郎	開成館
	甲種　商業簿記教科書　巻上、中、下	吉田良三	同文館
	商品學教科書	河合諄太郎	三省堂
國民學校初等科訓導			
修身	師範修身書　巻一、二、三	文部省	教學圖書株式會社
教育	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
	同　各科教授法	同	同
	同　學校管理法	同	同
	同　心理學	同	同
國語	師範國文　巻五、六、七、八　第一部用	吉田彌平　石井庄司	光風館
文法	新制師範國文法	吉澤義則	修文館
習字	教育書鑒	木俣波男	國華會出版部
	模範女子新習字教本	修文館編輯部	東京修文館
	小學校書方手本　尋常科用	文部省	大日本圖書株式會社
算術	師範教育　數學教科書　上巻	津山三郎	敞文館

	カズノホン	文部省	大日本圖書株式會社
	小學校算術教科書全部	同	文部省
歴史	小學國史　教師用書　巻上、中、下	同	東京書籍株式會社
地理	師範新日本地理	田中啓爾	目黒書店
	師範新外國地理	同	同
	師範新地理概説	同	同
理科	師範教科新制植物學	大日本圖書株式會社	同上
	師範教科新制動物學	同	同
	昭和女子生理衞生教科書	佐藤淸	三省堂
	師範鑛物界教科書	中村新太郎	星野敬一
	自然ノ觀察　巻一、二、三	文部省	大日本圖書株式會社
	小學校理科教科書（教師用全）	文部省	同上
圖書	圖書法基準	宮下孝雄	開成館
	小學校圖書　教師用（尋常科用）	文部省	大日本圖書株式會社
	エノホン	同	同

工作	女子師範學校　手工教科書　巻上、下	岡山秀吉　他二名	培風館
音樂	標準師範學校音樂教科書　一―二	黒澤隆朝　小川一朗	共益商社
	最新オルガン教科書	田村虎藏	三松堂
	新訂尋常小學唱歌　自一年至六年	文部省	大日本圖書株式會社
	ウタノホン	同	同
体操	師範學校体錬科教科書	師範學校体育研究會	大正洋行
	學校体操教授指針	文部省体育研究所	目黒書店
	學校教練教科書	陸軍省兵務課編	軍人會館圖書部
裁縫	精詳衣服新教本　和服前後扁　洋服前後扁	岡本すみ	東京開成館
	新興裁縫科指導法	吉村千鶴	同
	尋常小學裁縫新教授書	文部省	大日本圖書株式會社

國民學校初等科准訓導

修身	師範修身書　巻一、二	文部省	教學圖書株式會社
教育	日本教育新教科書　各科教授法	乙竹岩造	培風館
國語	師範國文　巻一、二、三、四　第一部用	吉田彌平　石井庄司	光風館
	高等小學校國語讀本　全	文部省	同上

習字	小學校書方手本　尋常科用	同	同
算術	小學校算術教科書　全	同	同
	カズノホン	同	大日本圖書株式會社
歷史	尋常小學校 高等小學校 國史教科書　全	同	東京書籍株式會社
地理	尋常小學校 高等小學校 地理書　全	同	同
理科	小學校理科教科書　全	同	同
	自然ノ觀察	同	大日本圖書株式會社
体操	師範學校体鍊科教科書	師範學校体育研究會	大正洋行
	學校体操教授指針	文部省体育研究所	目黑書店
	學校教練教科書	陸軍省兵務課編	軍人會館圖書部

一　國民學校專科訓導　圖書科

教育ノ大要	日本教育 新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	エノホン 及小學圖畫　教師用　尋常科用 高等科用	文部省	東京書籍株式會社
	中等新圖書	日本圖書手工協會	大日本圖書株式會社
	教範用器畫	鈴川信一	帝國書院
	東西美術史	原貫之助 石谷辰治郎	修文館

	圖畫工作指導大系	武井勝雄	學校美術教會

音樂科

教育ノ大要	日本教育 新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	唱歌教育の理論と實際	三島喜代造	共益商社
	中等新樂典教科書基礎扁	眞篠俊雄	東洋圖書株式會社
	中等新樂典教科書　和聲樂式扁	眞篠俊雄	同
	オルガン教則本	島崎赤太郎	共益商社
	バイエルピアノ教則本	萩原英一	同
	新訂　尋常小學 高等小學　唱歌	文部省	大日本圖書株式會社

體操科

教育ノ大要	日本教育 新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	學校體操教授指針	文部省體育研究所	目黑書店
	新（生命）体操の學習	三橋喜久雄 三橋義雄	三橋体育研究所
	師範學校体鍊科教科書	師範學校体育研究會	大正洋行
	學校体操教授要目	文部省	同上
	學校教練教科書　前後扁	陸軍省兵務課編	軍人會館圖書部

00027

工作科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	改訂増補　新手工科教材及教授法	岡山秀吉	同
	改訂新手工教科書　卷上、下	岡山秀吉　阿部七五三吉　伊藤信一郎	培風館
	手工教育原論	阿部七五三吉	同

農業科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	全訂師範教科農業原論　卷一、二、三、四、五	横井時敬　佐々木祐太郎	興文社
	農學提要	野尻重雄	三省堂

商業科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	新商事要項　卷上、下	增地庸次郎	開成館
	甲種商業　簿記教科書　卷上、中、下	吉田良三	同文館

裁縫科

00028

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	新興裁縫科指導法	吉村千鶴	東京開成館
	精詳衣服新教本　和服前後扁　洋服前後扁	岡本すみ	同
	和服裁縫系統的精説合輯	石田はる	中文館
	尋常小學高等小學　裁縫新教授書　三冊	文部省	大日本圖書株式會社
	洗濯と汚點拔	菱山衡平	文光社
	家事各論　衣服要義	石澤吉磨	東洋圖書株式會社

外國語科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
	ザ、ニユウ、キングス、クラウン、リーダ	神田乃武	三省堂
	ザ、チヨイス、リーダ	青木常雄	東京開成館
	ニユウ、イングリツシ、コンポジシヨン	岩崎民平	至文堂
	イワサキス、コンサイス、イングリツシ、グラマー	岩崎民平	至文堂

家事科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館

授業法	最新家事教授法精義	石澤吉麿	教育研究會
	家事教授法要義	家事教授研究會	文光社
	割烹教授ニ關スル研究	中原イネ子	文光社
	新日本家事教科書　卷上、下	山崎犀二 有木邦太郎	盛林堂

習字科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	女子新習字帖　第二修正版　卷二、三、五	高塚錠二	東京開成館
	教育書鑒　卷一、三、五	木俣波男	東京國華會本部

武道科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
授業法	小學武道指導要目ノ解說ト其ノ指導　全	鹽谷宗雄 三橋秀三　共著	目黒書店
	新選日本柔道教典　一、二、三、四、五部	工藤一三	帝國書院
	要說柔道教本　全	永岡秀一 櫻庭武	開成館
	新劍道教科書　全	菅原融 森田文十郎	丸善株式會社

	文部省要目ニ準據　劍道解說　全	劍道教育研究會	東西社出版部

工業科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
應用化學科	新制實業化學	大塚好治	京極書店
電氣科	初級電氣工學	河喜多能一 矢幡源三	東京工業圖書株式會社
機械科	機械工業教科書（原動機）（工業青年學校教授及訓練用）	工業青年教育會	共立社

水產科

教育ノ大要	日本教育新教科書　教育學	乙竹岩造	培風館
漁撈科	改正漁業法解說	今村與作	農山漁村產業圖書研究會
	最新漁撈學	加藤成一	同
	海洋學通論	梶山英二	同
	漁船々長讀本	山本靜一	同
製造科	最新水產製造全書　上下	木村金太郎	社團法人大日本水產會
養殖科	水產學全集　第二卷　魚類學	田中茂穗	厚生閣

00031

同	四 水産動物學		岡田彌一郎	同
同	五 水産植物學		殖田三郎	同
同	六 水産蕃殖學		藤田經信	同

養護訓導

教育	日本教育新教科書 教育學	乙竹岩造	培風館
	同 各科教授法	同	同
	同 近世教育史	同	同
	同 學校管理法	同	同
	同 心理學	同	同
	同 論理學	同	同
修身	師範修身要義 第二部用 修正版 巻一、二	西晉一郎	東京開成館
公民	師範公民書 巻上、下	文部省	教學圖書株式會社
學校衞生	最新學校衞生	右文館編輯部著作	右文館
	學校看護法	同	同
	日本學校衞生學	竹村一	日本學童保健協會
	体錬科中心 健康教育要義	大西永次郎	右文館
	新編學校衞生關係法規	田村森次郎 荷見秋次	右文館

附則

本告示ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年七月三十一日鳥取縣告示第四百十九號ハ本告示公布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

00032

◇鳥取縣告示第七百三號

價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通リ價格ヲ認可シ同條第二項ニ依リ指定地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ組合員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事　八田三郎

一　組合ノ名稱及地區

（イ）名稱　鳥取縣紙工品商組合

（ロ）地區　鳥取縣一圓

二　構成員タル資格

地區内ニ於テ洋紙及紙加工品ノ販賣ヲ營ム者

三　價格等統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額

（イ）額

品名	寸法	單位	卸賣業者最高販賣價格	小賣業者最高販賣價格
七夕紙	天地 五寸八分 巾 七寸八分	二千枚	三、二七圓	廿枚ニ付 、〇四圓

右價格ハ賣主ノ店先渡價格トス

（ロ）實施ノ日　昭和十六年八月二十九日

四　認可ニ附シタル條件

（イ）　價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ

（ロ）　認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ掲示スベシ

◇鳥取縣告示第七百四號

昭和十五年十二月鳥取縣告示第九百六十九號米穀管理事務取扱員設置要項第一第二左ノ通改正シ昭和十六年八月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年八月二十九日

鳥取縣知事　八　田　三　郎

第一　縣並ニ縣郡市町村農會（市町村農會ナキトキハ市町村）ニ米穀管理事務取扱員ヲ置ク

第二　米穀管理事務取扱員ハ農産物檢査吏員及ビ官吏吏員中ヨリ之ヲ充ツルノ外縣郡市町村農會職員其ノ他適當ト認ムル者ヲ當該縣郡市町村農會長（農會ナキトキハ當該村長）ノ推薦ニ依リ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

彙報

〃生活戰態勢〃へ進軍
九月一日の興亞奉公日

（振興課）

九月一日の興亞奉公日實踐目標は〃生活戰態勢〃と決定した。時局は愈々複雜微妙となりつゝあつて、此の重大時局を乘切るためには、我々國民は眞に目覺めた戰時生活の實踐に努めなければならない。

戰時生活の實踐は日支事變以來ずつと行はれてゐて事變の處理東亞共榮圏の確立に向つて邁進してゐるのであるが、恰も當日は關東大震災の記念日に相當するので、縣及び翼贊會縣支部では、全縣民に對して戰時生活の實踐を一層强化せしめ、以て長期戰對應への新なる覺悟を促すため、次の三項目に基いて强力なる〃生活戰態勢〃へ進軍することゝなつた。

△生活全面に亙る單純化

1　尙ほ一部にあつては健全娛樂の域を超えて享樂面に惑溺し、奢侈安逸に遊閑する者がある。最早國民一人と雖も戰時意識を喪失せる生活は許されない。國家の興廢は國民の日常生活態度如何に懸つてゐる。從來の不合理なる生活の刷新を斷行すると共に、潑剌たる生活の臨戰体制を整へる。

2　毎日の生活に工夫と努力を働かし、衣食住の全面に亙つて單純化し生活力を一層强化する。卽ち死藏衣服の更生に新な工夫を凝らし、二重服裝の無駄を合理化すると共に食事も實質本位に改善する。

△戰時食糧の擴充

1　一握りの節米も一食の代用食も積極的に强化せねばならぬ時割當量だけは使ひ切ると云ふ觀念を棄て、更に其の中から餘剩米を生み出して御奉公する。

2　〃戰に勝つ食物〃の工夫には雜穀、菜根、海草類の混食を主食化し更に從來利用されなかつた調理材料の活用をする。例へば蔬菜、果實の皮、魚の小骨等も乾して粉末にすれば立派な貯藏食品となり、殘飯の干飯等も非常時食糧として貴重である。

△家庭資材の戰時的活用

00035

生活の單純化を實行して浮き出した不急品、死退藏品等の資材の活用更生は勿論、現在使つてゐるものでも、代用品に轉換出來るものは戰時資材として役立たせる。例へば鐵火鉢、鐵瓶等を陶製品に置き換へ、死藏の毛皮やモーニング等を再製して家庭資材の戰時的活用にする。

×　×　×

兵の家護る銃後の隣保愛

廢古レコードを集め青少年義勇軍を慰問激勵

（社會教育課）

廣漠たる滿蒙未開の地に大東亞建設の尊き礎を据えつゝある滿蒙開拓青少年義勇軍の若人達に慰安を與へ、その情操の純化高揚と士氣の鼓舞に資すると共に、開拓地の文化建設に寄與するため今回大日本青少年團・大日本産業報國會・全國女學校長協會・學生義勇軍・婦人團體（愛國婦人會、大日本國防婦人會、大日本聯合婦人會）が主催となり、拓務省・文部省其の他滿洲開拓關係及び蓄音器レコード關係諸團體後援の下に、全國より廢古レコードを募集することゝなり、青年團又は婦人會に於て各戸を訪問蒐集する筈である。

その慰問激勵の方法は右主催團體に於て募集した廢古レコードの賣却によつて得た資金を以て、現地青少年義勇軍に對し適當なるレコードを購入し、昭和十六年度までに渡滿した中隊に對しては滿洲開拓青少年義勇隊訓練本部に於て、又昭和十七年・十八年度渡滿の義勇軍各中隊に對しては内原に於ける壯行式の際にこれを傳達することゝし、なほ現地各中隊備付の蓄音機は多數破損のまゝ放置されてゐる實情にあるため、修理技術奉仕班を派遣して修理し又は修理技術の講習會を開催し、一面義勇軍の文化的訓練の強化徹底を圖るために文化指導者隊を編成して現地に派遣し、文化の建設指導をなす筈である。

縣下各家庭に於てもこれにふさはしい古レコードや破損レコードは相當あると思はれるのであるが、かゝる家庭に於てはどうか極力募集に應ぜられるやう希望する。

00036

防火に努めませう

本縣の火災逐年增加

（警務課）

本縣の火災が逐年增加の傾向にあることは寔に遺憾なことである。最近四ヶ年間に於ける火災度數を見ると昭和十三年が百三十三回、十四年が一回少くて百三十二回、十五年にはぐつと上つて百五十六回、十六年即ち本年の前半期は八十八回となつて居り、損害は十三年が約三十萬圓、十四年が約五十一萬圓、十五年が約六十萬圓、十六年は前半期だけで實に約百三萬圓と云ふ驚くべき數字に上つてゐる。

之は本春の四月十六日焚火の不始末に依つて二十世帶（八十棟）山林三千坪（損害二十五萬餘圓）を燒失した西伯郡逢坂村の大火、翌十七日子供の弄火に依つて二十四世帶（七十棟）山林十町步（損害五萬餘圓）を燒失した八頭郡大伊村の大火、次いで十六日目の五月三日佛壇の燈明で五十一世帶（百二十棟）（損害三十七萬餘圓）を灰燼に皈せしめた西伯郡所子村の大火と相次いでの火災に依つて斯くも莫大な數字に達したものである。

出火度數の多くなつた原因は事變に依る手不足が主因をなすものと見られてゐるが、特に子供の弄火に依る火災が目立つて多くなつたことは注目すべきことである。之は手不足のために子供への保護監督が不行屆になつて來た結果とも見られるのであつて、此處に保護者たるものゝ細心の注意が望ましい。

時局は益々緊迫の度を加へつゝある。我々は此の非常の秋に於て一層心を引き緊め、個人の損害は引いては國家の損害となるのであるから火氣に充分注意し、子供の保護監督を萬全にして防火に努め、而して銃後の完璧を期して此の浪荒き時局を乘切らねばならない。

尚ほ前四ヶ年間に於ける各警察署別の火災度數及び損害額を示すと次の如くである。

區別 ／ 署別	昭和十三年 度數	昭和十三年 損害額	昭和十四年 度數	昭和十四年 損害額	昭和十五年 度數	昭和十五年 損害額	昭和十六年六月末 度數	昭和十六年六月末 損害額
鳥取	二六	一四五千六七二圓	二三	二八千六六九圓	二三	一〇五千三一七圓	一八	九千一二七圓

00037

岩井	四	三、〇四二	一〇	四五、七二三	五	三六、五八〇	一	、〇三〇
河原	五	二、八七〇	八	二〇、四〇五	一〇	一五五、二二一	七	四六、四七六
若櫻	七	七、六一四	八	三五、七四五	五	六、二四五	一	二八、〇〇〇
智頭	四	四、五〇六	六	五、五三八	七	一六、〇一五	五	一五、七五二
寳木	七	三、五六四	八	二七、七八七	八	八、五七〇	四	五、八三〇
倉吉	一二	三四、〇一三	九	三一、七七六	一三	一一四、六三六	一五	一六〇、六三八
八橋	一三	三、〇六四	六	、一八一	一〇	三九、六四〇	七	一六六、六八三
米子	二五	七一、八九四	二六	六六、三六八	二八	七七、八五五	一七	四九八、一七三
境	一〇	八、三三四	一三	一六一、四八三	九	三一、六〇二	五	九〇、四五五
黒坂	七	、四四〇	一一	八四、一〇〇	一二	二、六三九	四	五、五一五
溝口	三	一二、四九〇	四	一、五七〇	六	三、九〇一	四	、四五〇
合計	一三三	二九七、四九五	一三二	五〇九、三四五	一五六	五九八、二二一	八八	一、〇二七、一二九

◎行旅死亡人

一　本籍、住所、氏名、不詳　男推定年齡三十二三歲土工夫風
頭髮オールバック右門齒金冠右第二臼齒銀冠各一本

二　着衣印袢天左襟ニ㋑中山金物店ト記名アリ
茶色ジャンパー紫色ワイ襯衣メリヤス襯衣茶色コール天ズボン國防色卷ゲートルポッコ靴

一　本籍住所氏名不詳　男推定年齡三十歲位土工夫風
特徵ナシ

二　着衣國防色上衣羅紗ジャンパー毛糸シャツ白ワイ襯衣メリヤス襯衣國防色ズボン紺色羅紗ズボンポッコ靴
所持品ポッコ靴

右二件取扱者夕張町長昭和十六年六月十一日夕張町字丁未奥山林中ニ於テ死後九十日以上ヲ經過シタル爛腐死體二個ヲ發見檢視濟ノ上引渡シヲ受ケ假埋葬ニ附シタリ

取扱者　北海道夕張郡夕張町長

心當ノ向ハ直接該町長宛照會相成度

昭和十六年八月廿九日印刷
昭和十六年八月廿九日發行

鳥取縣鳥取市東町
發行者　鳥取縣
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所　鳥取刑務支所